

第5回
伊万里地区新高校
設置準備委員会
(資料)

平成28年5月20日
佐賀県教育委員会

目次

	頁
資料 1	新高校設置準備委員会設置要領・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
資料 2	伊万里地区新高校設置準備委員会委員構成・・・・・・・・ 3
資料 3	伊万里地区新高校設置に向けた検討体制・・・・・・・・ 4
資料 4	平成 27 年度の検討内容報告及び平成 28 年度以降のスケジュール について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
資料 5	新高校の学科構成について・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
資料 6	新高校の校地について・・・・・・・・・・・・・・・・ 24

新高校設置準備委員会設置要領

平成14年10月21日
佐賀県教育委員会教育長決定
一部改正 平成17年4月 1日
一部改正 平成18年7月12日
一部改正 平成21年4月 1日
一部改正 平成27年4月 1日

(設置)

- 第1条 佐賀県立高等学校再編整備実施計画に定める再編等によって設置される高校(以下「新高校」という。)の具体的な在り方等を検討するために、県立高等学校再編整備推進本部設置要綱第7条の規定に基づき、新高校設置準備委員会(以下「委員会」という。)を設置する。
- 2 委員会は、新高校ごとに別表のとおり設置する。

(所掌事項)

- 第2条 委員会は、次の各号に掲げる具体的な検討を行う。
- 一 新高校の教育内容及び管理運営等に関すること
 - 二 新高校の施設・設備に関すること
 - 三 新高校への円滑な移行に関すること
 - 四 前号に掲げるもののほか、検討を要すること

(組織)

- 第3条 委員会の委員は、再編等整備の対象となる学校(以下「再編等対象校」という。)の校長、教職員、県教育委員会事務局関係者及び地域関係者のうちから教育長が委嘱する。
- 2 委員会には委員長及び副委員長を置き、再編等対象校関係委員の中から教育長が指名する。
 - 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を代理する。
 - 4 委員長は、必要と認めるときは、委員会に作業部会を設置することができる。

(会議)

- 第4条 委員会は、委員長が招集し、主宰する。
- 2 委員長は、必要と認めるときは、委員以外の者に委員会への出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。

(事務局)

- 第5条 委員会の事務局は、委員長が所属する学校及び県立高校再編整備推進室に置く。

(補足)

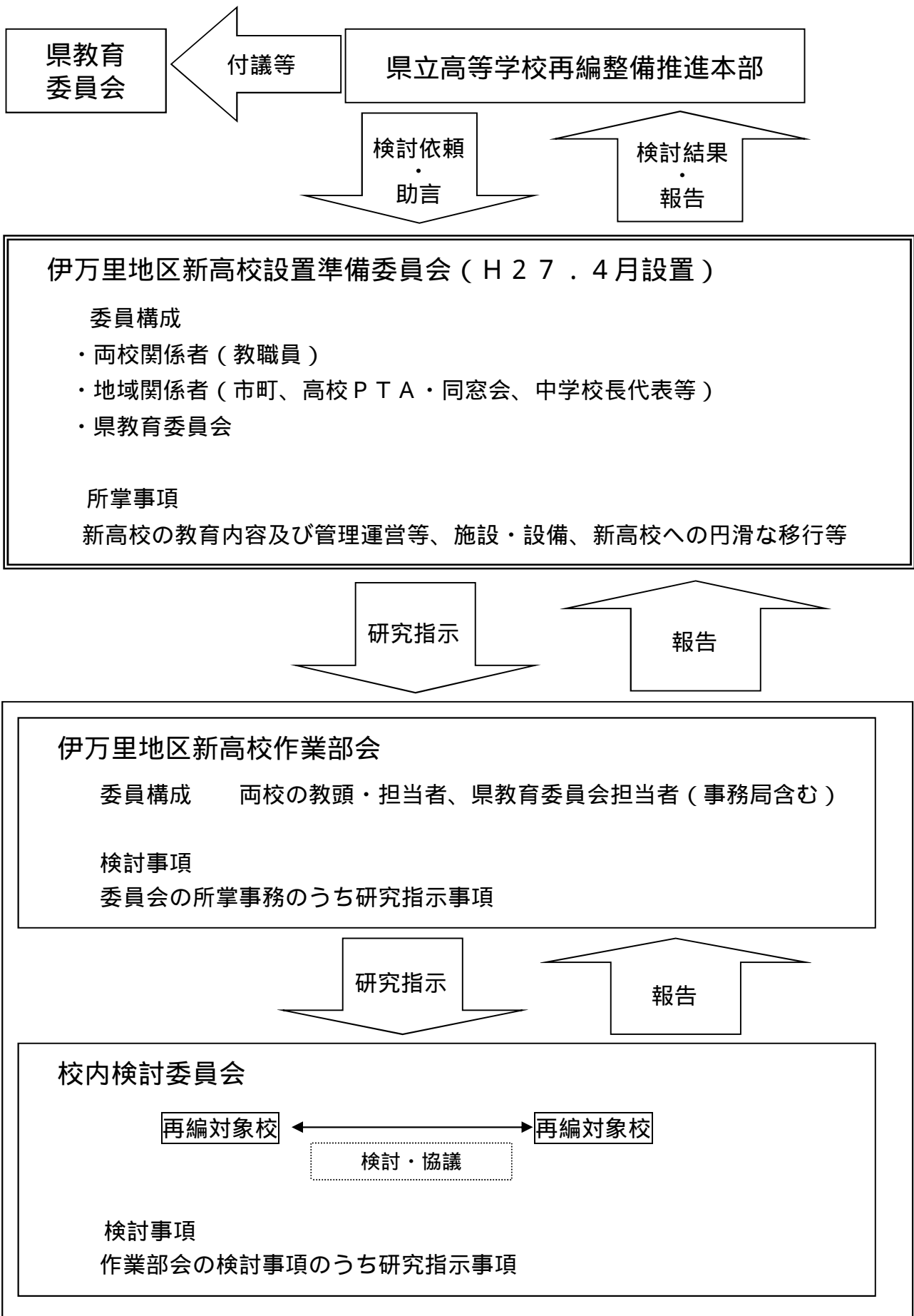
- 第6条 この要領に定めるもののほか、委員会及び作業部会の運営に必要な事項は委員長が委員会に諮って定める。

別表（第1条関係）

委員会名	再編等対象校
伊万里地区新高校 設置準備委員会	伊万里農林高等学校、伊万里商業高等学校
杵島地区新高校 設置準備委員会	白石高等学校、杵島商業高等学校
新巖木高校 設置準備委員会	巖木高等学校
鹿島地区新高校 設置準備委員会	鹿島高等学校、鹿島実業高等学校
嬉野地区新高校 設置準備委員会	塩田工業高等学校、嬉野高等学校

資料2 伊万里地区新高校設置準備委員会委員構成

No.	所属・職名	氏名	備考
1	伊万里商業高等学校 校長	熊谷 正実	委員長・学校関係者
2	伊万里農林高等学校 校長	青木 久生	副委員長・学校関係者
3	伊万里商業高等学校 教頭	大川内弘紀	学校関係者
4	伊万里農林高等学校 教頭	松本 英裕	
5	伊万里市教育長	森 哲也	伊万里市関係者
6	伊万里市副市長（事務取扱） 政策経営部長	江頭 興宣	
7	伊万里商業高等学校 同窓会代表	森 日出生	地元関係者
8	伊万里農林高等学校 同窓会代表	岩永 康則	
9	伊万里商業高等学校 PTA代表	中尾 啓司	
10	伊万里農林高等学校 PTA代表	金子 直幸	
11	伊万里市立東陵中学校長	坂本 浩幸	中学校関係者
12	教育総務課長	源五郎丸 靖	県教委関係者
13	教育振興課長	五反田 進	
14	教育情報課長	碓 浩一	
15	教職員課長	福地 昌平	
16	学校教育課長	松尾 敏実	
17	保健体育課長	吉松 幸宏	
18	県立高校再編整備推進室 室長	原 和弘	
19	県立高校再編整備推進室 教育企画監	岩村 彰	
事務局	伊万里商業高等学校教諭	坂口 哲也	
	伊万里農林高等学校教諭	木村 紀元	
	県立高校再編整備推進室 企画主幹	山下 秀司	
	県立高校再編整備推進室 企画主査	杉本 耕一郎	



平成 27 年度の検討状況

1 目的

佐賀県教育委員会は、平成 26 年 12 月に「新たな生徒減少期に対応した佐賀県立高等学校再編整備実施計画（第 1 次）」を策定し、伊万里農林高校及び伊万里商業高校の再編を決定した。

計画では、平成 31 年度に現在の伊万里農林高校の 1 学年 120 人（3 学級規模）及び伊万里商業高校の 1 学年 120 人（3 学級規模）を再編して、合わせて 200 人（5 学級規模）とし、学科については現在の学科を基本として、地域の意見も聞きながら検討することとした。また、新高校の場所については、伊万里農林高校若しくは伊万里商業高校又は校舎制とし、地域の意見も聞きながら検討としている。

これを踏まえ、伊万里地区新高校の具体的な在り方等を検討するために、平成 27 年 4 月に伊万里農林高校、伊万里商業高校、両高校の高校同窓会・PTA、地元中学校、伊万里市の市関係者や教育長並びに佐賀県教育委員会の関係者からなる「伊万里地区新高校設置準備委員会」を立ち上げ、魅力ある新高校づくりを目指した検討を行ってきた。

2 「伊万里地区新高校設置準備委員会」での検討経過

平成 27 年度は、「伊万里地区新高校設置準備委員会」を 4 回開催し、伊万里地区の高校再編に向けて、めざす学校像、学科構成、校地についての検討を行ってきた。

また、この委員会は公開とし、その都度、県のホームページ等を通じて、開催案内や協議事項概要等の報告を行い、県民への情報提供を行っている。

これまでの設置準備委員会開催日及び主な検討事項は、次のとおりである。

回	日付	主な検討項目
第 1 回	平成 27 年 5 月 27 日（水）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 委員委嘱 ・ 新実施計画の概要 ・ 新高校設置準備委員会検討スケジュール ・ めざす学校像
第 2 回	平成 27 年 7 月 31 日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ・ めざす学校像 ・ 学科の構成
第 3 回	平成 27 年 10 月 26 日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ・ めざす学校像 ・ 学科の構成 ・ 校地について
第 4 回	平成 28 年 1 月 15 日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学科の構成（地元産業界代表意見聴取） ・ 校地について

検討結果

めざす学校像

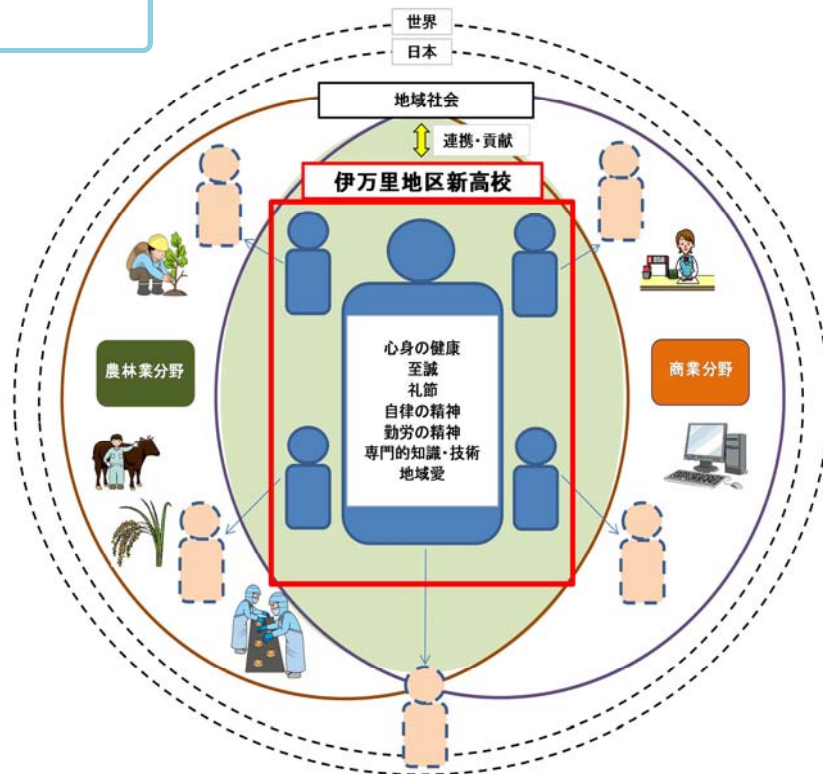
心身ともに健康でたくましく、至誠と礼節を重んじ、自律と勤労の精神のもと、研鑽を積んだ専門的知識・技術と創造力で社会に貢献する人材を育成し、生徒一人ひとりが地域を愛し、夢に向かって挑戦していく学校。

「知 徳 体」のバランスと両校に共通する「たくましさ」「勤労の精神」を大切にしてい

ていく。
両校の歴史を感じさせる言葉である「至誠」「礼節」を大切にしてい

ていく。
地域を愛し、地域に愛される学校であることを大切にしてい

めざす学校像から考えられる 新高校のイメージ図



平成 28 年度以降の検討課題及び検討スケジュール（案）

<伊万里地区新高校設置準備委員会>

回	時期	主な検討項目
平成 28 年度 第 5 回	H28 年 5 月	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 27 年度報告、平成 28 年度以降のスケジュール ・新高校の学科構成 ・校地について（伊万里農林高校施設見学）
第 6 回	H28 年 7 月	<ul style="list-style-type: none"> ・新高校の学科構成 ・校地について（伊万里商業高校施設見学）
第 7 回	H28 年 10 月	<ul style="list-style-type: none"> ・校地について ・教育内容に係る検討報告（教育課程、部活動、校時等） ・新高校名検討（検討方法について） ・新校章・新校歌・新制服検討（検討方法について）
第 8 回	H29 年 1 月	<ul style="list-style-type: none"> ・教育内容に係る検討報告（教育課程、部活動、学校行事、校務分掌、各種委員会等） ・新高校名検討（進捗状況報告） ・<校舎制の場合>校舎制 ・新校章・新校歌・新制服検討（進捗状況報告）
平成 29 年度 第 9 回	H29 年 5 月	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度報告、平成 29 年度以降のスケジュール ・教育内容に係る検討報告（学校行事、選抜方法、施設・設備等） ・新高校名検討（進捗状況報告） ・<校舎制の場合>校舎制 ・新校章・新校歌・新制服検討（進捗状況報告）
第 10 回	H29 年 7 月	<ul style="list-style-type: none"> ・教育内容に係る検討報告（施設・設備、未消化分） ・新高校名検討（校名案について） ・<校舎制の場合>校舎制 ・新校章・新校歌・新制服検討（各案について）

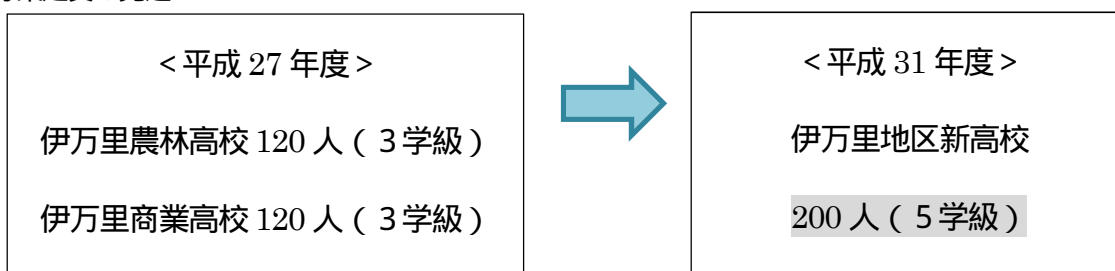
第11回	H29年10月	・新高校再編整備実施計画（原案）検討
	H30年2月	・2月議会（条例改正案）
	H30年3月	・新高校再編計画
平成30年度	H30年4月～	・広報活動、施設・設備の整備 進捗状況報告のための設置準備委員会を開校までに1～2回実施
平成31年度	<u>H31年4月</u>	<u>開校</u>

新高校の学科構成について

1 平成27年度現在の学科の状況

学校	大学科	小学科	募集定員 (人・学級)	備考
伊万里農林高校	農業科	生物生産科	40人・1学級	2年次より 「植物コース」「動物コース」
		食品化学科	40人・1学級	
		森林工学科	40人・1学級	2年次より 「土木コース」「林業コース」
伊万里商業高校	商業科	商業科	80人・2学級	
		情報処理科	40人・1学級	

2 募集定員の見込



3 学科構成として考えられるパターン

平成31年度									
パターン	大学科	小学科	募集定員	学級数	パターン	大学科	小学科	募集定員	学級数
パターン1	農業科	生物生産科	40	1	パターン5	農業科	生物生産科	40	1
		食品化学科	40	1			森林工学科	40	1
		森林工学科	40	1			※融合新学科(農業系)	40	1
	商業科	商業科	40	1		商業科	商業科	40	1
		情報処理科	40	1			情報処理科	40	1
パターン2	農業科	生物生産科	40	1	パターン6	農業科	生物生産科	40	1
		食品化学科	40	1			食品化学科	40	1
		森林工学科	40	1			※融合新学科(農業系)	40	1
	商業科	商業科	80	2		商業科	商業科	80	2
パターン3	農業科	生物生産科	40	1	パターン7	農業科	生物生産科	40	1
		森林工学科	40	1			食品化学科	40	1
	商業科	商業科	80	2		商業科	商業科	40	1
		情報処理科	40	1			情報処理科	40	1
パターン4	農業科	生物生産科	40	1	パターン8	農業科	生物生産科	40	1
		食品化学科	40	1			森林工学科	40	1
	商業科	商業科	80	2		商業科	商業科	80	2
		情報処理科	40	1			※融合新学科(商業系)	40	1

4 これまでの検討内容と確認事項等

学科パターンについては、現在の6学級規模から5学級規模になることに伴い、次の～を想定し、検討を行ってきた。

農業系学科で1学級減じる場合。
商業系学科で1学級減じる場合。
農業系学科又は商業系学科を1学級減じて融合学科（農業系又は商業系）を新設する場合。

融合新学科については、農業と商業に関するものであり、それ以外の分野の学科（例えば家庭、福祉、看護、工業など）については想定していない。

募集定員を農業科100人、商業科100人の6学級とするパターンについては、新高校作業部会（事務局）で検討し、職員数減とそれに伴う教員1人当たりの授業担当時間数増の面から実施が難しいことを確認した。

5 学科構成検討のための方向性

融合学科を新設しない場合 ... <パターン1> ~ <パターン4>

- (1) 現在の学科構成を維持する場合... <パターン1>
この場合、商業科の1学級（40人）減となる。
- (2) 商業系学科、農業系学科のどちらかが1学級減じる場合（<パターン1>以外）

【商業系学科が減じる場合】

商業科は軸とする。よって、2学級となった場合に想定されることは以下のとおりである。

商業科（2学級80人）... <パターン2>

この場合、コース選択で現在の情報処理科の特色を残すかどうかを検討。

【農業系学科が減じる場合】

生物生産科は軸とする。よって2学級となった場合に想定されることは次のとおりである。

生物生産科（1学級40人）+ 森林工学科（1学級40人）... <パターン3>

生物生産科（1学級40人）+ 食品化学科（1学級40人）... <パターン4>

また、小学科内での融合（例えば教育課程を工夫し、生物生産科に森林工学科の学習内容を入れていくなど）で現在の3学科の特色を残していくという方法もある。

融合学科を新設する場合 ... <パターン5> ~ <パターン8>

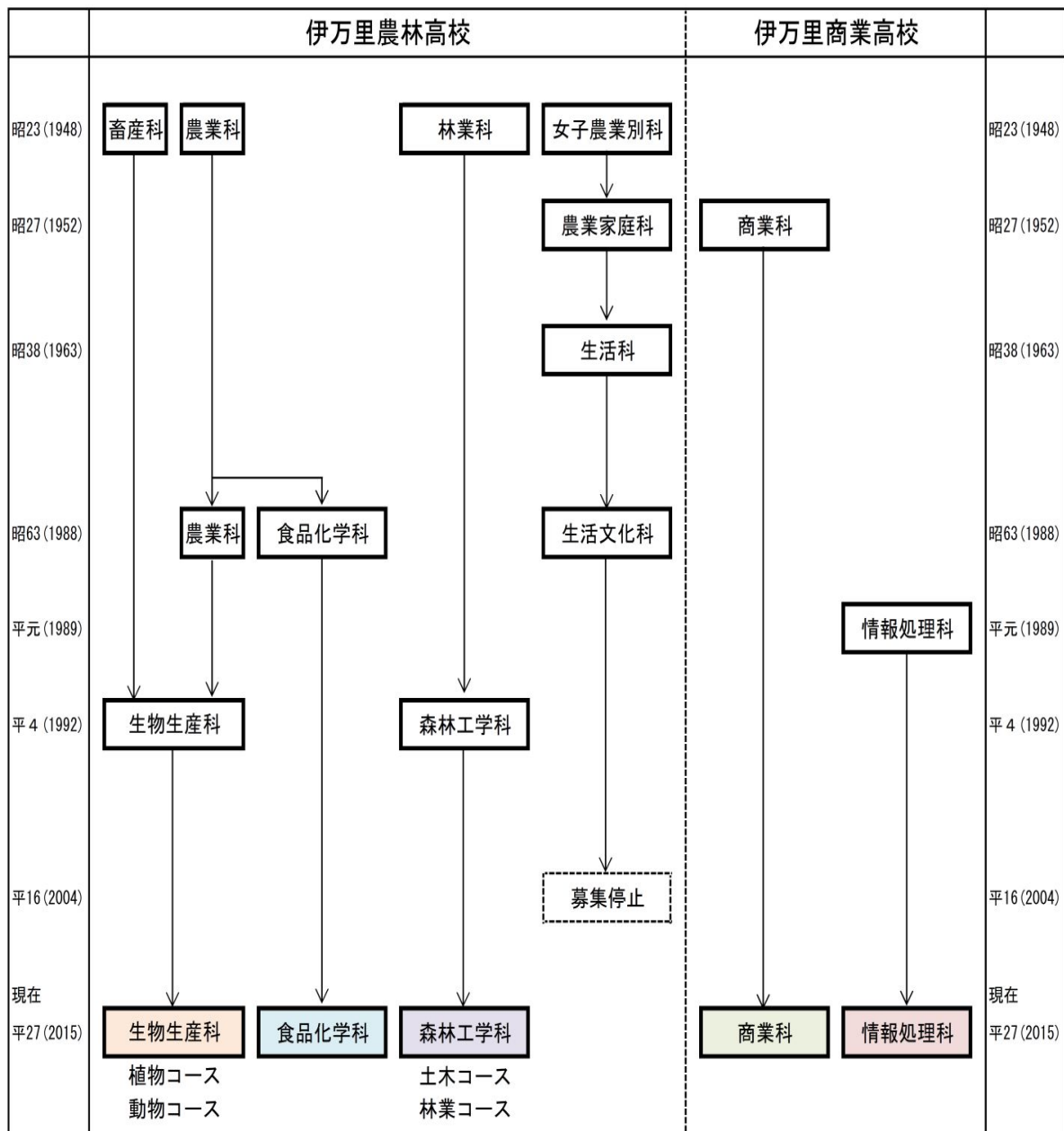
融合新学科を農業系又は商業系のいずれとするか。

（融合新学科を設置するために、どの学科を改編していくのか）

融合新学科の内容をどうするか。

（例えば食ビジネスなどの6次化対応や農業経済面重視など）

1 これまでの学科の変遷（学制改革以降）



2 伊万里農林高校と伊万里商業高校の教育課程表

伊万里農林高校（生物生産科）

全日制 生物生産科

佐賀県立伊万里農林高等学校

教科科目		入学年度		平成27年度入学（第1学年）					
		標準単位数	学年	2年		3年		合計	
			コース	1年	植物コース	動物コース	植物コース	動物コース	植物コース
国語	国語総合	4	4						4
	国語表現	3					★(2)		0・2
	現代文B	4		2		2			4
地理	世界史A	2		2					2
歴史	日本史A	2				②			0・2
	地理A	2				②			0・2
公民	現代社会	2	2						2
	政治・経済	2					★[2]		0・2
数学	数学I	3	3	2					5
	数学A	2				2			2
理科	科学と人間生活	2	2						2
	生物基礎	2				2			2
保健体育	体育	7～8	2	3		2			7
	保健	2	1	1					2
芸術	音楽I	2	②						0・2
	美術I	2	②						0・2
	書道I	2	②						0・2
外国語	コミュニケーション類I	3	3						3
	コミュニケーション類II	4		★(2)		★[3]			0・5
	英語会話	2		★(2)					0・2
家庭情報	家庭総合	4	2	2					4
	社会と情報	2							0
各学科に共通する教科小計			21	14	17・15・10		52・50・45		
農業	農業と環境	2～6	4						4
	課題研究	2～6				2			2
	総合実習	2～12	3	3		1			7
	農業情報処理	2～6	2	2					4
	作物	2～8		2		★[3]			2・5
	野菜	2～8		2		[6]			2・8
	果樹	2～8		2		[6]			2・8
	草花	2～8		2		[6]			2・8
	畜産	2～8			4		6		10
	農業経営	2～6				2			2
	農業機械	2～6				★[2]			0・2
	植物バイオテクノロジー	2～6		2		2		4	
	動物バイオテクノロジー	2～6					2		2
グリーンライフ	2～6				★(2)			0・2	
動物科学	2～10			4				4	
家庭	フードデザイン	2～6				[2]		0・2	
主として専門学科において開設される教科小計			9	15	13・15・20		37・39・44		
校外学習活動	就業体験 知識及び技能審査	1～20							
総合的な学習の時間				1			1		
履修単位の計(校外学習活動を除く)			30	30	30		90		
特別活動	ホームルーム活動		1	1		1		3	
	生徒会活動		別途計画						
	学校行事		別途計画						

備考・○、()、[]、【 】、□は1科目選択。

- ・ 共通教科選択者は★を選択し、専門教科選択者は☆を選択する。ただし、3年次の「フードデザイン」については、共通教科選択者、専門教科選択者に関係なく選択することができる。
- ・ 総合実習は、1年次野菜、果樹、草花、畜産の4パート。2年次は植物コース（野菜・果樹・草花）、動物コース（畜産）の4パート。
- ・ 総合実習の各学年1単位は時間割外総合実習で長期休業中に実施する。内容は時間割内総合実習に準ずる。
- ・ 科目「社会と情報」2単位は1年次の「農業情報処理」2単位で代替する。
- ・ 「総合的な学習の時間」3単位のうち、2単位を「課題研究」で代替する。

伊万里農林高校（食品化学科）

全日制 食品化学科

佐賀県立伊万里農林高等学校

教科科目		入学年度		平成 27 年度 入 学（第 1 学 年）			
		標準 単位数	学年	1 年	2 年	3 年	合 計
国 語	国 語 総 合	4		4			4
	国 語 表 現	3				★(2)	0・2
	現 代 文 B	4			2	2	4
地 理	世 界 史 A	2			2		2
	日 本 史 A	2				②	0・2
歴 史	地 理 A	2				②	0・2
	現 代 社 会	2	2				2
公 民	政 治 ・ 経 済	2				★②	0・2
	数 ・ 学 I	3	3		2		5
数 学	数 学 A	2				2	2
	科 学 と 人 間 生 活	2			2		2
理 科	化 学 基 礎	2	2				2
	生 物 基 礎	2				2	2
	体 育	7～8	2		3	2	7
保 健 体 育	保 健	2	1		1		2
	音 楽 I	2	②				0・2
芸 術	美 術 I	2	②				0・2
	書 道 I	2	②				0・2
	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 漢 語 I	3	3				3
外 国 語	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 漢 語 II	4			★(2)	★[3]	0・5
	英 語 会 話	2			☆(2)		0・2
	家 庭 総 合	4	2		2		4
情 報	社 会 と 情 報	2					0
各 学 科 に 共 通 す る 教 科 小 計				21	16	17・15・10	54・52・47
農 業	農 業 と 環 境	2～6	2				2
	課 題 研 究	2～6				2	2
	総 合 実 習	2～12	3		3	3	9
	農 業 情 報 処 理	2～6	2		2	★(2)	4・6
	食 品 製 造	2～8	2		2	2	6
	食 品 化 学	2～8			2	3	5
	微 生 物 利 用	2～6			2	3	5
	食 品 流 通	2～6			2	★②	2・4
	食 品 衛 生 学	2～6				★[3]	0・3
家 庭	フ ォ ー ド デ ザ イ ン	2～6				②	0・2
主 として 専 門 学 科 に お いて 開 設 さ れ る 教 科 小 計				9	13	13・15・20	35・37・42
校 外 学 習 活 動	就 業 体 験	1～20					
	知 識 及 び 技 能 審 査	1～20					
総 合 的 な 学 習 の 時 間					1		1
履 修 単 位 の 計 (校 外 学 習 活 動 を 除 く)				30	30	30	90
特 別 活 動	ホ ー ム ル ー ム 活 動		1		1		3
	生 徒 会 活 動						
	学 校 行 事						
				別 途 計 画			

備考・○、()、[]、□は1科目選択。

- ・ 共通教科選択者は★を選択し、専門教科選択者は☆を選択する。ただし、3年次□の「フードデザイン」については、共通教科選択者、専門教科選択者に関係なく選択することができる。
- ・ 総合実習は、1年次は農産加工。2年次は農産加工、応用微生物、食品化学の3パート。3年次は農産加工、畜産加工、応用微生物、食品化学の4パート。
- ・ 総合実習の各学年1単位は時間割外総合実習で放課後や長期休業中に実施する。内容は時間割内総合実習に準ずる。
- ・ 科目「社会と情報」2単位は1年次の「農業情報処理」2単位で代替する。
- ・ 「総合的な学習の時間」3単位のうち、2単位を「課題研究」で代替する。

伊万里農林高校（森林工学科）

全日制 森林工学科

佐賀県立伊万里農林高等学校

教科科目		入学年度		平成 27 年度 入学（第 1 学年）						
		標準 単位数	学年 コース	1 年	2 年		3 年		合 計	
					土木コース	林業コース	土木コース	林業コース	土木コース	林業コース
国 語	国 語 総 合	4	4						4	
	国 語 表 現	3					★(2)		0・2	
	現 代 文 B	4			2		2		4	
地 理	世 界 史 A	2			2				2	
	日 本 史 A	2					②		0・2	
歴 史	地 理 A	2					②		0・2	
	現 代 社 会	2	2						2	
公 民	政 治 ・ 経 済	2					★[2]		0・2	
	数 学 I	3	3		2				5	
数 学	数 学 II	4					★[3]		0・3	
	数 学 A	2			★[2]		☆(2)		2	
	理 科	2	2						2	
保 健 育	生 物 基 礎	2					2		2	
	体 育	7～8	2		3		2		7	
保 健 育	保 健	2	1		1				2	
	音 楽 I	2	②						0・2	
芸 術	美 術 I	2	②						0・2	
	書 道 I	2	②						0・2	
	外 国 語	3	3						3	
外 国 語	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン Ⅰ	3	3						3	
	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン Ⅱ	4			★(2)		★(2)		0・4	
	英 語 会 話	2			☆(2)				0・2	
家 庭 情 報	家 庭 総 合	4	2		2				4	
家 庭 情 報	社 会 と 情 報	2							0	
各 学 科 に 共 通 す る 教 科 小 計			21		16・14		17・15・10		54・52・45	
農 業	農 業 と 環 境	2～6	2						2	
	課 題 研 究	2～6					2		2	
	総 合 実 習	2～12	3		5		1		9	
	農 業 情 報 処 理	2～6	2		☆[2]		☆[2]		2・4・6	
	森 林 科 学	2～8				2		5		7
	森 林 経 営	2～8				2		2		4
	林 産 物 利 用	2～8				2		3		5
	農 業 土 木 設 計	2～8			2		5		7	
	農 業 土 木 施 工	2～6			2		3		5	
	造 園 技 術	2～8						☆(2)		0・2
	測 量	2～8	2		2			☆[3]		4・7
水 循 環	2～6			2		2		4		
家 庭	フ ー ド デ ザ イ ン	2～6					②		0・2	
主 として 専 門 学 科 に お いて 開 設 さ れ る 教 科 小 計			9		13・15		13・15・20		35・37・44	
校 外 学 習 活 動	就 業 体 験	1～20								
	知 識 及 び 技 能 審 査									
総 合 的 な 学 習 の 時 間					1				1	
履 修 単 位 の 計 (校 外 学 習 活 動 を 除 く)			30		30		30		90	
特 別 活 動	ホ ー ム ル ー ム 活 動		1		1		1		3	
	生 徒 会 活 動									
	学 校 行 事									

備考・○、()、[]、〈 〉、□は1科目選択。

- ・ 共通教科選択者は★を選択し、専門教科選択者は☆を選択する。ただし、3年次□の「フードデザイン」については、共通教科選択者、専門教科選択者に関係なく選択することができる。
- ・ 総合実習は、1年次は土木・林業。2年次は土木コース（測量）、林業コース（造園技術・林産物利用）の2パート。
- ・ 総合実習の各学年1単位は時間割外総合実習で長期休業中に実施する。内容は時間割内総合実習に準ずる。
- ・ 科目「社会と情報」2単位は1年次の「農業情報処理」2単位で代替する。
- ・ 「総合的な学習の時間」3単位のうち、2単位を「課題研究」で代替する。

教科・科目		学 科 標準単位	商 業 科				情報処理科				
			1年	2年	3年	履修単位の計	1年	2年	3年	履修単位の計	
各学科に共通する各教科	国語	国 語 総 合	4	4			4	4			4
		国 語 表 現	3			□3	0, 3			□3	0, 3
		現 代 文 B	4		3	2	5		3	2	5
	地理 歴史	世 界 史 A	2		2		2		2		2
		日 本 史 A	2			△2	0, 2			△2	0, 2
		地 理 A	2			△2	0, 2			△2	0, 2
	公民	現 代 社 会	2	2			2	2			2
	数学	数 学 I	3	2	2		4	2	2		4
		数 学 A	2			2	2			2	2
	理科	科 学 と 人 間 生 活	2	2			2	2			2
		生 物 基 礎	2		2		2		2		2
	保健 体育	体 育 7~8	7~8	2	2	3	7	2	2	3	7
		保 健	2	1	1		2	1	1		2
	芸術	書 道 I	2	2			2	2			2
	外 国 語	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 英 語 I	3	3			3	3			3
		コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 英 語 II	4		3	3	6		3	3	6
		英 語 会 話	2			■3	0, 3			■3	0, 3
	家庭 情報	家 庭 総 合	4		2	2	4		2	2	4
	社 会 と 情 報	2									
主として専門学科において開設される各教科	商業	ビ ジ ネ ス 基 礎	2~4	2			2	2			2
		課 題 研 究	2~6			3	3			3	3
		総 合 実 践	2~6			3	3				
		マ ー ケ テ ィ ン グ	2~4		○3		0, 3				
		ビ ジ ネ ス 経 済	2~4			■3	0, 3			■3	0, 3
		経 済 活 動 と 法 律	2~4			□3	0, 3			□3	0, 3
		簿 記	2~5	6			6	3			3
		財 務 会 計 I	2~4		○4, ●5		4, 5		4		4
		財 務 会 計 II	2~4			■3	0, 3			■3	0, 3
		原 価 計 算	2~4		○3, ●5		3, 5			□3	0, 3
		情 報 処 理	2~4	3	2		5	6			6
		ビ ジ ネ ス 情 報	2~4			3	3		3		3
		電 子 商 取 引	2~4			□3	0, 3			2	2
		プ ロ グ ラ ミ ン グ	2~4						5		5
ビ ジ ネ ス 情 報 管 理	2~5							4	4		
総 合 的 な 学 習 の 時 間											
履 修 単 位 の 計			29	29	29	87	29	29	29	87	
特別活動	ホ ー ム ル ー ム 活 動 (週あたりの時間数)		1	1	1	3	1	1	1	3	
	生 徒 会 活 動		別途計画								
	学 校 行 事										

△、□、■ は、それぞれ1つを選択
 ●、○ は、どちらかをまとめて選択
 「総合的な学習の時間」は課題研究3単位で代替
 情報の「社会と情報」は、1年次の情報処理で代替

(1) 配置

伊万里地区の学科及び募集定員（440人 11学級規模）

普通科 200人（5学級規模）

（伊万里高校 200人）

専門学科 240人（6学級規模）

（農業科：伊万里農林高校 120人、商業科：伊万里商業高校 120人）

【農業科、商業科の全県配置】



県内の農業系高校、商業系高校の小学科（数値はH28募集定員）

【農業に関する学科を持つ高校】

高志館高校 ...食品流通科 40、園芸科学科 40、環境緑地科 40

唐津南高校 ...生産技術科 40、食品流通科 40、生活教養科（福祉系）40

佐賀農業高校 ...農業科学科 40、食品科学科 40、環境工学科 40

伊万里農林高校...生物生産科 40、食品化学科 40、森林工学科 40

【商業に関する学科を持つ高校】

鳥栖商業高校 ...商業科 120、流通経済科 40、情報管理科 40

佐賀商業高校 ...商業科 160、情報処理科 80

唐津商業高校 ...商業科 120、会計科 40

杵島商業高校 ...商業科 80、情報処理科 40

鹿島実業高校 ...商業科 40、情報処理科 40、食品調理科（家庭系）40

伊万里商業高校...商業科 80、情報処理科 40

(2) 伊万里地区の高校別志願状況

地区名	高校名	H22入学生			H23入学生			H24入学生			H25入学生			H26入学生			H27入学生			H28入学生		
		9月	11月	後期	9月	11月	後期	9月	11月	一般	9月	11月	一般	10月	11月	一般	10月	11月	一般	10月	11月	一般
伊万里地区	伊万里	1.01	1.02	1.05	0.98	0.95	1.00	0.91	0.90	0.91	1.11	1.13	1.11	1.10	1.07	1.03	1.06	1.02	1.03	1.06	1.00	1.04
	伊万里農林	1.15	1.10	1.06	1.38	1.29	1.41	1.18	1.11	1.21	1.50	1.28	1.23	1.14	1.19	1.23	1.22	1.15	1.26	1.23	1.17	1.10
	伊万里商業	1.08	1.18	1.24	1.24	1.32	1.38	0.93	1.09	1.01	0.98	1.13	1.32	1.09	1.11	1.19	1.09	1.13	1.01	1.00	1.03	1.03

※数値は倍率。網掛けは1.00倍未満。
 ※後期(または一般)倍率は、志願変更後の倍率。

< 伊万里農林高校と伊万里商業高校の小学科別志願状況 >

学校名・学科名	H22入学生			H23入学生			H24入学生			H25入学生			H26入学生			H27入学生			H28入学生			
	9月	11月	後期	9月	11月	後期	9月	11月	一般	9月	11月	一般	10月	11月	一般	10月	11月	一般	10月	11月	一般	
伊万里農林高校	全体	1.15	1.10	1.06	1.38	1.29	1.41	1.18	1.11	1.21	1.50	1.28	1.23	1.14	1.19	1.23	1.22	1.15	1.26	1.23	1.17	1.10
	生物生産科	0.93	1.30	1.20	1.60	1.38	1.65	1.08	1.30	1.19	1.70	1.55	1.47	1.25	1.25	1.16	1.18	1.35	1.38	1.40	1.43	1.13
	食品化学科	1.63	1.13	1.13	1.25	1.25	1.07	1.35	1.10	1.13	1.65	1.25	1.13	1.10	1.05	1.06	1.35	1.15	1.28	0.88	0.88	0.91
	森林工学科	0.90	0.88	0.88	1.30	1.25	1.48	1.10	0.93	1.31	1.15	1.05	1.09	1.08	1.28	1.47	1.13	0.95	1.13	1.40	1.20	1.28
伊万里商業高校	全体	1.08	1.18	1.24	1.24	1.32	1.38	0.93	1.09	1.01	0.98	1.13	1.32	1.09	1.11	1.19	1.09	1.13	1.01	1.00	1.03	1.03
	商業科	1.33	1.23	1.15	1.16	1.28	1.35	1.01	1.09	1.05	1.08	1.25	1.36	1.14	1.13	1.21	1.14	1.20	1.13	0.96	1.01	1.03
	情報処理科	0.60	1.08	1.39	1.40	1.40	1.45	0.75	1.10	0.94	0.80	0.90	1.24	1.00	1.08	1.17	1.00	0.98	0.74	1.08	1.08	1.03
	県全体	1.21	1.19	1.16	1.20	1.17	1.17	1.19	1.16	1.15	1.21	1.18	1.20	1.20	1.15	1.15	1.18	1.14	1.15	1.19	1.14	1.14

※数値は倍率。網掛けは1.00倍未満。
 ※後期(または一般)倍率は、志願変更後の倍率。

【参考1 農業科の小学科別志願状況(県全体)】

大学科・小学科	H22入学生			H23入学生			H24入学生			H25入学生			H26入学生			H27入学生			H28入学生			
	9月	11月	後期	9月	11月	後期	9月	11月	一般	9月	11月	一般	10月	11月	一般	10月	11月	一般	10月	11月	一般	
農業	1.22	1.22	1.22	1.22	1.23	1.37	1.34	1.25	1.31	1.41	1.37	1.31	1.23	1.25	1.29	1.25	1.21	1.26	1.35	1.31	1.26	
	生産系	0.98	1.26	1.35	1.18	1.09	1.43	1.31	1.31	1.39	1.38	1.35	1.31	1.15	1.18	1.27	1.19	1.34	1.26	1.31	1.21	1.29
	食品系	1.65	1.34	1.29	1.53	1.47	1.32	1.50	1.35	1.27	1.79	1.59	1.31	1.55	1.43	1.31	1.48	1.23	1.28	1.53	1.48	1.20
	土木系	0.86	0.93	1.01	0.87	1.10	1.35	1.15	1.05	1.25	0.96	1.12	1.32	0.90	1.13	1.29	1.03	1.00	1.24	1.18	1.23	1.32
	生活系	1.55	1.45	1.13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※数値は倍率。網掛けは1.00倍未満。
 ※後期(または一般)倍率は、志願変更後の倍率。
 ※農業科の生産系学科は「園芸工学科」「生産技術科」「生物生産科」「農業科学科」とする。
 ※農業科の食品系学科は「食品流通科」「食品化学科」「食品科学科」とする。
 ※農業科の土木系学科は「緑地土木科」「森林工学科」「環境工学科」とする。
 ※農業科の生活系学科は「生活文化科」とする。

【参考2 商業科の小学科別志願状況(県全体)】

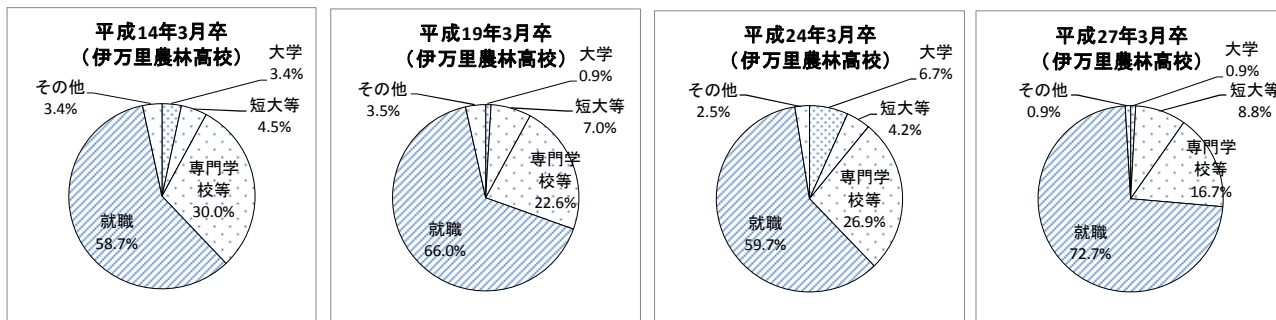
大学科・小学科	H22入学生			H23入学生			H24入学生			H25入学生			H26入学生			H27入学生			H28入学生		
	9月	11月	後期	9月	11月	後期	9月	11月	一般	9月	11月	一般	10月	11月	一般	10月	11月	一般	10月	11月	一般
商業	1.28	1.24	1.25	1.25	1.25	1.22	1.24	1.20	1.10	1.16	1.19	1.22	1.20	1.14	1.16	1.11	1.10	1.05	1.15	1.13	1.16
	商業系	1.36	1.27	1.24	1.27	1.30	1.24	1.23	1.10	1.18	1.20	1.21	1.29	1.19	1.18	1.13	1.14	1.09	1.20	1.18	1.15
	情報系	1.02	1.14	1.20	1.20	1.09	1.21	1.13	1.09	1.06	1.13	1.25	0.90	0.98	1.08	1.04	0.95	0.93	0.98	0.96	1.16
	その他	1.20	1.30	1.68	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※数値は倍率。網掛けは1.00倍未満。
 ※後期(または一般)倍率は、志願変更後の倍率。
 ※くくり募集は商業系に含む。

(3) 伊万里農林高校と伊万里商業高校の高校卒業後の進路状況

農業科

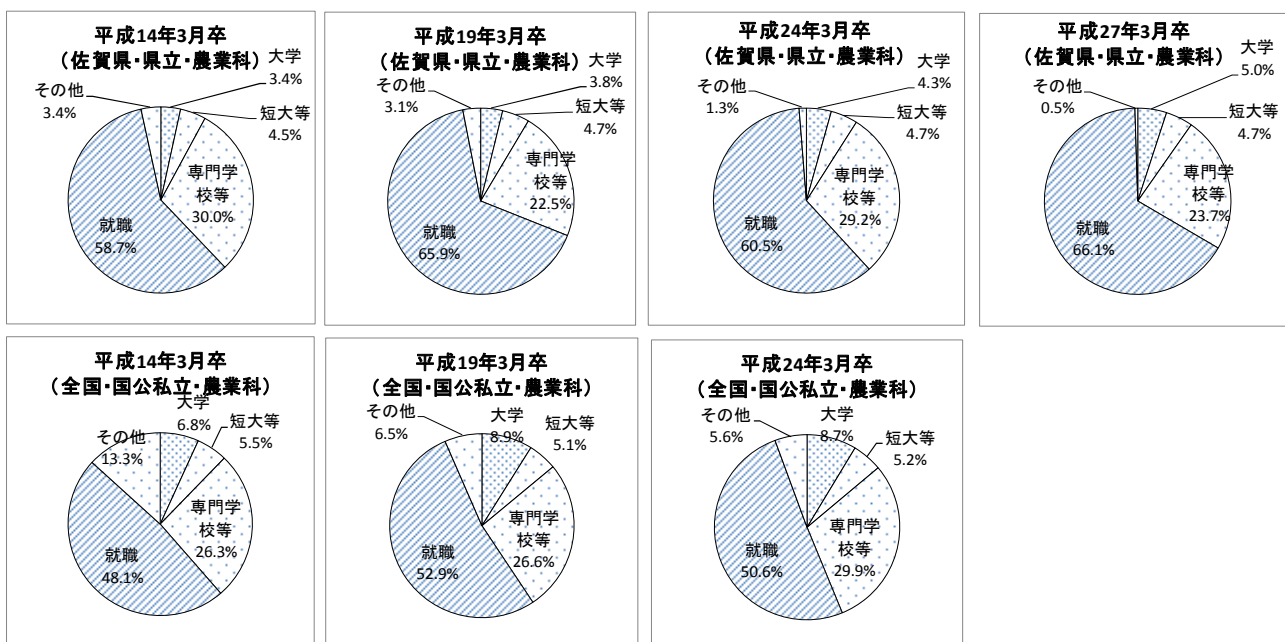
【伊万里農林高校卒業後の進路状況】



【参考 本県と全国の農業科卒業後の進路状況】

上段：佐賀県・県立・農業科

下段：全国・国公私立・農業科



< H27.3 卒業生の主な進学先 >

(私立) 梅花女子大学

(短期大学) 西九州短大、九州龍谷短大、長崎短大

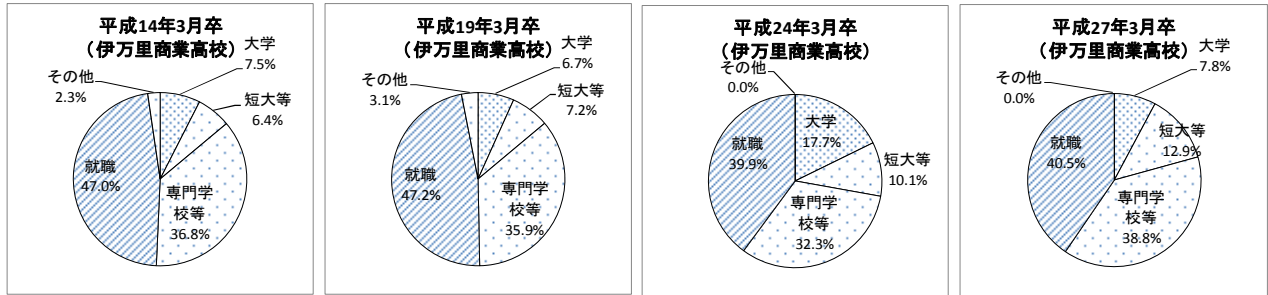
(専修学校等) 佐賀コンピュータ専門学校、中村調理製菓専門学校、佐賀調理製菓専門学校、伊万里看護学校、佐賀農業大学校

< H27.3 卒業生の主な就職先 >

伊万里市農業協同組合、伊万里湾運輸、山元記念病院、伊万里有田共立病院、亀栄建材、川井産業、川原建設、黒木建設、九州内田鍛工、JA フーズさが、SUMCO、YSK九州工場、アンスコ、市丸建設、伊万里木材市場、かねは食品、(株)玄海テック、スミショー、名村造船所、ノリタケカンパニーリミテッド、フタバ九州、マツダオートザム伊万里、丸兄商社、モスフードサービス、友愛石油、佐川急便、ヤマト運輸、玉屋、モスバーガー、宗政酒造、宮島醤油、たらみ、フランソア、マツダ、トヨタ自動車、山崎製パン、リョーユーパン、若木ゴルフ倶楽部、長崎キャノン、ハウステンボス、エレナ、王子紙業、自衛隊

商業科

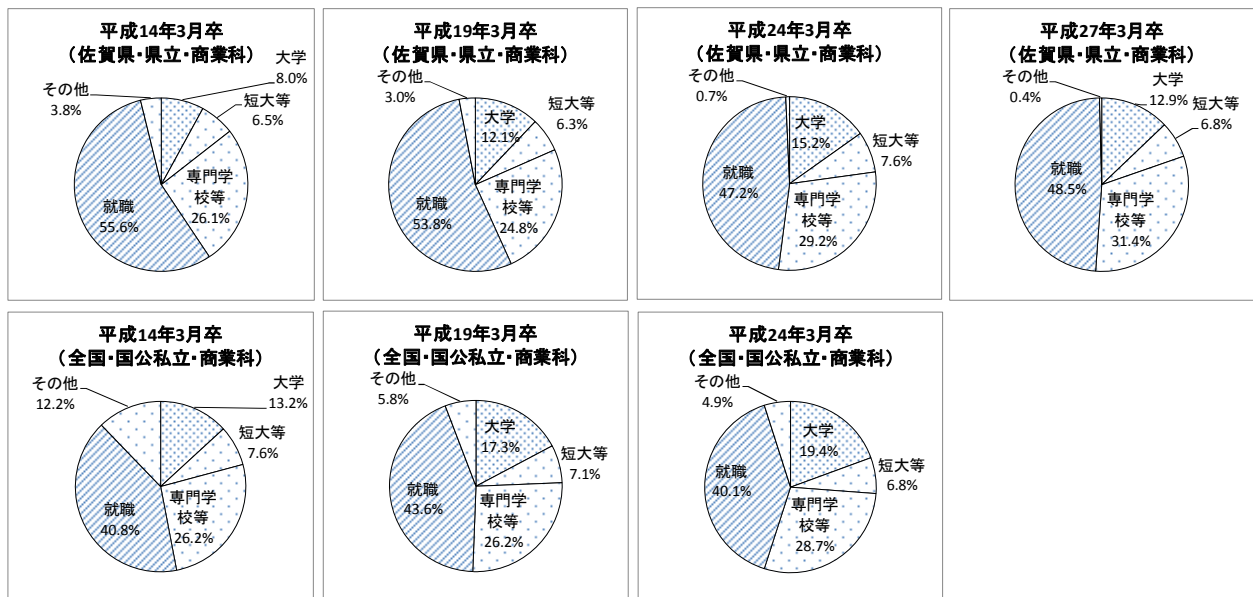
【伊万里商業高校卒業後の進路状況】



【参考 本県及び全国の商業科卒業後の進路状況】

上段：佐賀県・県立・商業科

下段：全国・国公立・商業科



< H27.3 卒業生の主な進学先 >

(国公立) 長崎県立大学、兵庫県立大学

(私立) 西九州大学、九州共立大学、中村学園大学、熊本学園大学、梅花女子大学

(短期大学) 西九州短大、佐賀女子短大、長崎短大、香蘭女子短大、福岡女子短大、精華女子短大

(専修学校等) 佐賀コンピュータ専門学校、武雄看護リハビリテーション学校、緑生館、佐賀歯科衛生専門学校、麻生医療福祉専門学校、福岡看護専門学校

< H27.3 卒業生の主な就職先 > 佐賀共栄銀行、佐賀西信用組合、伊万里信用金庫、山崎製パン、デン

ソー、日本特殊陶業、林テレンプ、マツダ、昭和金属工業、JR九州、トヨタ自動車九州、ハウステンボス、佐賀県畜産公社、伊万里鉄工所、やましげ、伊万里湾運輸、SUMCO、深川製磁、西松浦通運、西田病院、エヌ・ティー、扶桑エンジニアリング、マップ・パートナーズ、アンスコ九州、アイ・エス、アイ・ケア、前田病院、山口病院、伊万里有田共立病院、西田病院、自衛隊

4 農業と商業の融合学科について

平成 27 年度伊万里地区新高校設置準備委員会資料から抜粋

< 農業科と商業科の両方の教育内容を持つ他県の高校との開設科目の比較（専門科目のみ） >

教科	科目	三本木農業高校		明野高校	吉野川高校	伊万里農林高校					伊万里商業高校	
		農業経済科		流通科学科	食ビジネス科	生物生産科		食品化学科	森林工学科		商業科	情報処理科
		経営管理コース	食品流通コース			植物コース	動物コース		土木コース	林業コース		
農業	農業と環境	●	●	●		●	●	●	●	●		
	課題研究	●	●	●		●	●	●	●	●		
	総合実習	●	●	●		●	●	●	●	●		
	農業情報処理	●	●	●		●	●	●	●	●		
	作物					●	●					
	野菜					●						
	果樹	●	●			●						
	草花					●						
	畜産						●					
	農業経営	●		●		●	●					
	農業機械					●	●					
	植物バイオテクノロジー			●		●						
	動物バイオテクノロジー						●					
	グリーンライフ			●		●	●					
	動物科学★						●					
	食品製造	●	●	●	●			●				
	食品化学							●				
	微生物利用							●				
	食品流通		●	●				●				
	食品衛生学★							●				
	森林科学									●		
	森林経営									●		
	林産物利用									●		
	農業土木設計								●			
	農業土木施工								●			
	造園技術								●	●		
	測量								●	●		
	水環境								●			
	農業経済	●	●	●								
	造園計画											
	環境緑化材料											
	生物活用											
アグリプログラミングⅠ★			●									
アグリプログラミングⅡ★			●									
農業情報デザイン★			●									
農業ビジネス★			●									
茶の文化★			●									
計算技術★	●	●										
総合演習★	●	●										
商業	ビジネス基礎				●						●	●
	課題研究				●						●	●
	総合実践				●						●	
	マーケティング			●	●						●	
	ビジネス経済										●	●
	経済活動と法				●						●	●
	簿記	●	●	●	●						●	●
	財務会計Ⅰ			●							●	●
	財務会計Ⅱ										●	●
	原価計算			●	●						●	●
	情報処理				●						●	●
	ビジネス情報	●									●	●
	電子商取引				●						●	●
	プログラミング											●
	ビジネス情報管理											●
	ビジネス実務					●						
	商品開発		●		●							
	広告と販売促進		●		●							
	ビジネス経済応用											
	管理会計											
ビジネス計算★					●							
起業実践★					●							
家庭	フードデザイン				●	●	●	●	●			

※記号の説明 ●…開設されている科目 ★…学校設定科目

【参考】 農業科と商業科の両方の教育内容を持つ他県の高校の事例

青森県立三本木農業高等学校 内容は同校ホームページ等による。

(1) 沿革

M31.10 青森県農学校として創立。

S23.4 青森県立三本木農業高等学校と改称。

S42.4 文部省指定自営者育成農業高等学校（現農業経営者育成高等学校）となる。

< 農業経済科の経緯 >

S27.4 商業課程設置。

S40.4 商業科廃止。

H元.4 農業経済科設置。

(2) 学科と募集定員（平成28年度入学生 数値は人）

【計175人 5学級/学年】

農業科（植物科学科35、動物科学科35、農業機械科35、
環境土木科35、農業経済科35）

(3) 学科の教育内容

学科名	教育内容
農業経済科	< 3年次コース（1、2年次は共通） > <u>経営管理コース</u> 簿記や農業会計、情報処理などを通じた経営管理やマネジメント手法の学習。 <u>食品流通コース</u> 食品の特性や加工方法、商品開発の手法や流通経路の学習。

(4) 特色

農業経済科の生徒のアイデアを基に、ローソンとのコラボでりんごの形をしたパンを開発。

農業経済科では研究室を設置し、プロジェクト学習及び発表会を実施。

農産物研究室...県産品を用いた、高校生向け米粉パンの製品化への挑戦。

食品開発研究室...地域特産品を用いた商品化への取り組み。

農村問題研究室...地域で収穫された農産物による簡単手軽な調理方法の開発。

農業情報処理研究室...リモートカメラを用いた圃場監視システムの開発。

(1) 沿革

M12.7 三重県勸業試験場として創立。

S23.5 三重県明野養蚕学校と三重県田丸実業女学校が統合し、三重県明野高等学校となる。

S30.4 三重県立明野高等学校と改称。

< 流通科学科の経緯 >

S63.4 農業科の小学科として経済科設置。

H27.4 経済科を流通科学科に改編。

(2) 学科と募集定員 (平成 28 年度入学生 数値は人)

【計 200 人 5 学級 / 学年】

農業科 (生産科学科 40、食品科学科 40、流通科学科 40)

家庭科 (生活教養科 40)

福祉科 (福祉科 40)

(3) 学科の教育内容

学科名	教育内容
流通科学科	農産物と生産資材の流通、情報処理に関する知識や技術を学習し、農業経営や流通・サービス活動に活用できる能力と態度を育てる。

(4) 特色

2 年次にキャリアプラン (1 単位科目 農業系 3 学科共通) を設定。

農家見学、農業自営者等による講演会等でキャリア教育を実施。

農業系 3 学科での総合選択制。

生産物販売所 (週 3 回営業) を校内に設置。



(明野高校ホームページから引用)

(1) 沿革

H24.4 阿波農業高校（農業科学科、園芸科学科）と鴨島商業高校（商業科、経営情報科）が統合。

(2) 学科と募集定員（平成28年度入学生 数値は人）

【計130人 5学級/学年】

農業科（農業科学科25、生物活用科20）

商業科（会計ビジネス科25、情報ビジネス科30、食ビジネス科30）

(3) 学科の教育内容

学科名	教育内容
食ビジネス科	野菜・果樹の栽培、地域食材を使った調理、製菓など食材調達から調理、商品開発、店舗経営までを学習。 自然食レストラン経営、食品販売など食ビジネス従事者の育成。

(4) 特色（「徳島県農工商教育活性化方針」から吉野川高校について抜粋）

【農業科】

特色ある地方製品の活用や販路確立による地域産業支援。

- ・地域食材の積極的な活用や地域食文化の保存事業。
- ・イベント開催による販路確保。

農産物販売所「アグリ吉野川」の運営を通じたビジネスマナーの習得と経営力育成の取り組み。

商業科並びに企業との連携による商品開発の促進。

【商業科】

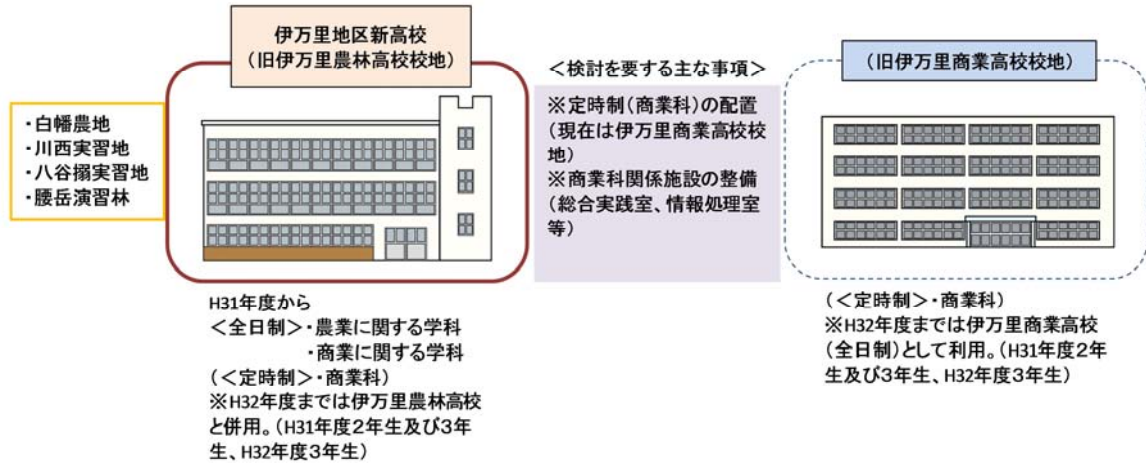
地域の企業や農業科と連携した商品開発。

吉野川市・阿波市との連携。

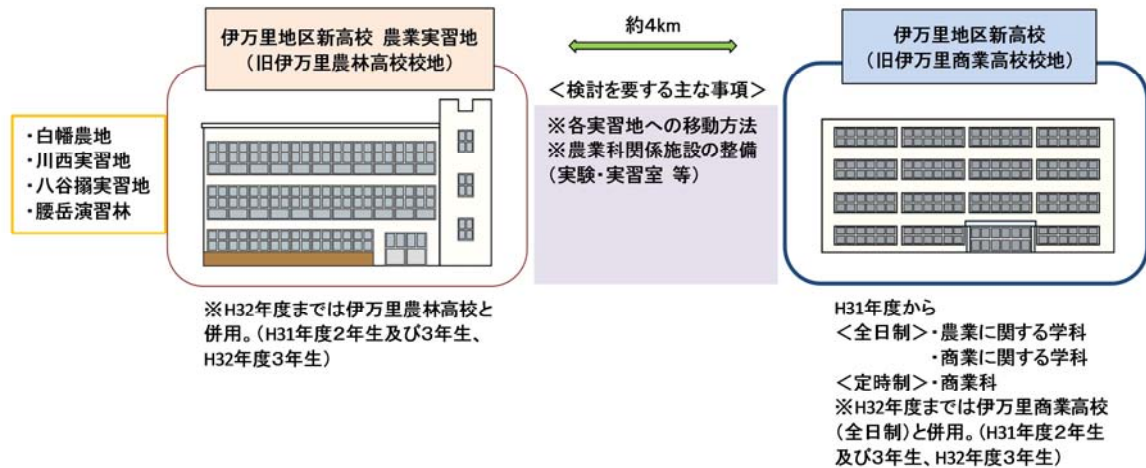
- ・吉野川コレクション等への参加。
- 「スクールカフェ吉野川」の運営を通じた実践力の育成。
- ・農産物販売所アグリ吉野川と同時開催。
- ・出張スクールカフェの開催。

伊万里地区新高校の校地に係るパターンイメージ

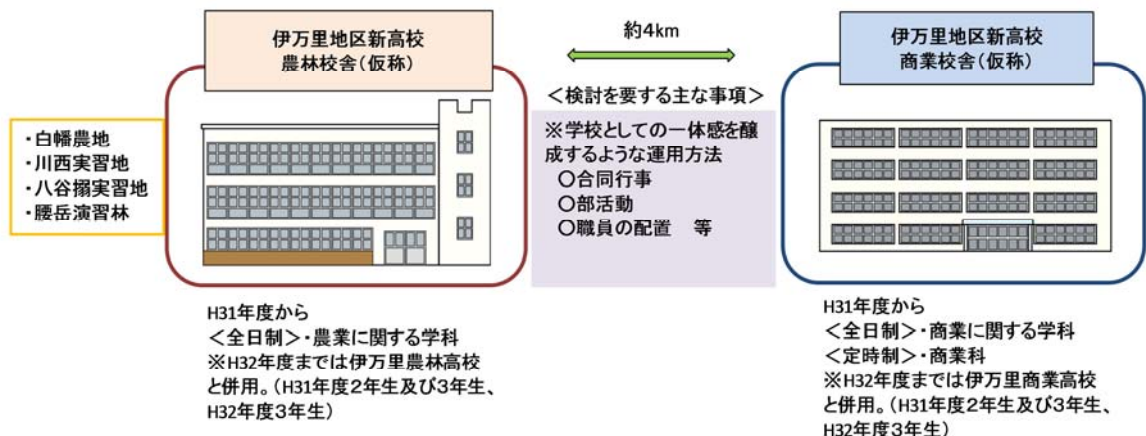
1 現在の伊万里農林高校を校地とした場合



2 現在の伊万里商業高校を校地とした場合



3 校舎制とした場合



参考資料

1 「新たな生徒減少期に対応した佐賀県立高等学校再編整備実施計画（新実施計画）（第1次）」

<新実施計画内容>

伊万里地区の生徒減少に合わせ、平成31年度までに、県立高等学校の再編を実施する。

再編対象校	伊万里農林高等学校、伊万里商業高等学校
新高等学校の場所	伊万里農林高等学校若しくは伊万里商業高等学校の校地又は校舎制 (校地については、地域の意見も聞きながら、引き続き検討する。)
募集定員	1学年 200人(5学級規模)
学 科	現在の学科を基本として、地域の意見も聞きながら検討する。

なお、伊万里地区については、生徒数の減により、平成33年度にさらに募集定員を40人(1学級相当)減じる必要があると見込んでいる。

2 伊万里地区高校再編計画における新実施計画以前の主な経緯

平成14年10月 定例教育委員会

「佐賀県立高等学校再編整備第一次実施計画」

- <内容>
- ・伊万里商業高校と伊万里農林高校を再編し、総合選択制を導入
 - ・開校年度：平成17年度 ・設置場所：伊万里商業高校の校地
 - ・学校規模：1学年6学級(農業科2学級、商業科4学級)

平成17年2月 臨時教育委員会

「佐賀県立高等学校再編整備第一次実施計画における専門高校等の再編計画」

- <内容>
- ・伊万里商業高校と伊万里農林高校を再編し、総合選択制を導入
 - ・開校年度：平成22年度 ・設置場所：伊万里商業高校の校地
 - ・学校規模：1学年6学級(農業科2学級、商業科4学級)

平成20年3月 臨時教育委員会

「伊万里地区の高校再編計画について」

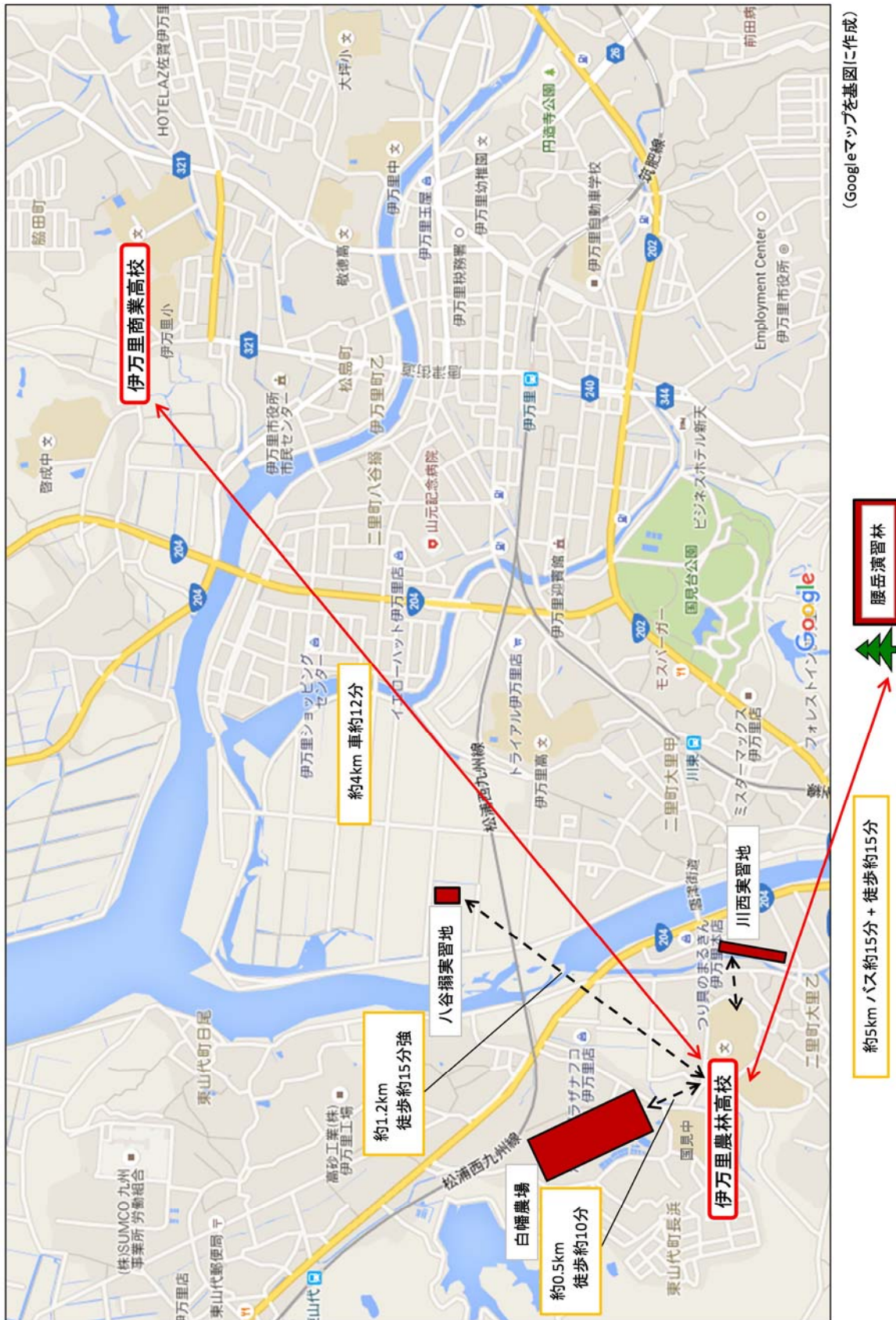
- <内容>
- 地元の提案を踏まえ、伊万里農林高校と伊万里商業高校の平成22年度の再編実施を延期し、両校の再編については地元の理解を求めていくことを決定。

【地元の提案】

- ・平成22年度は伊万里農林高校、伊万里商業高校のそれぞれを3学級の単独校として存続させる。
- ・両校の老朽化や耐震化への対応や3学級規模での教育効果などの課題を検証しながら、今後予想される時期の生徒減少期(平成31年度頃)までには、伊万里商業高校と伊万里農林高校を再編する。
- ・新高校の校地については、通学の利便性や施設の老朽化などを考慮して、伊万里商業高校の校地が適当と考える。

3 校地の現況

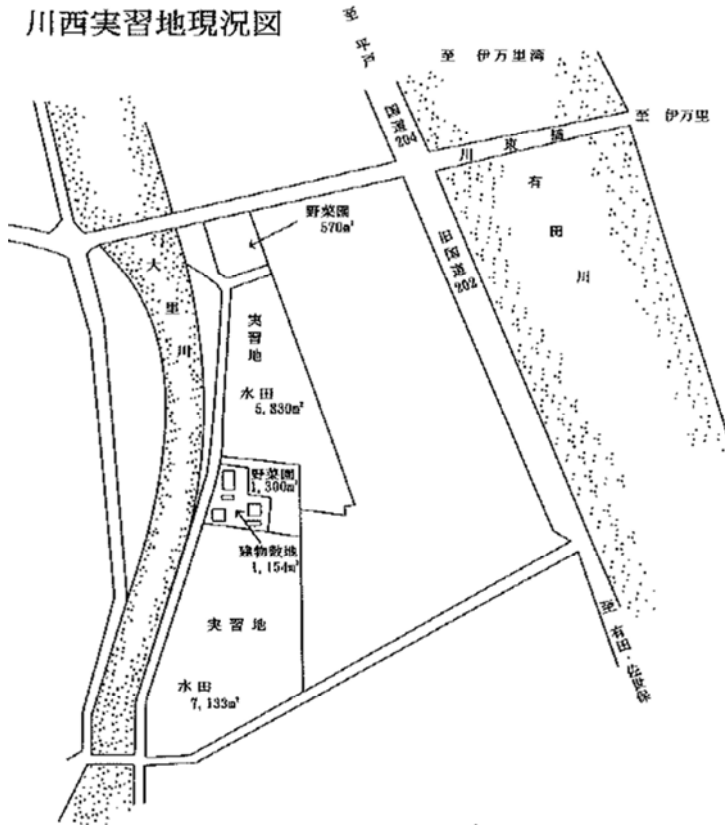
<現在の両高校の位置と伊万里農林高校の実習地>



(Googleマップを基図に作成)

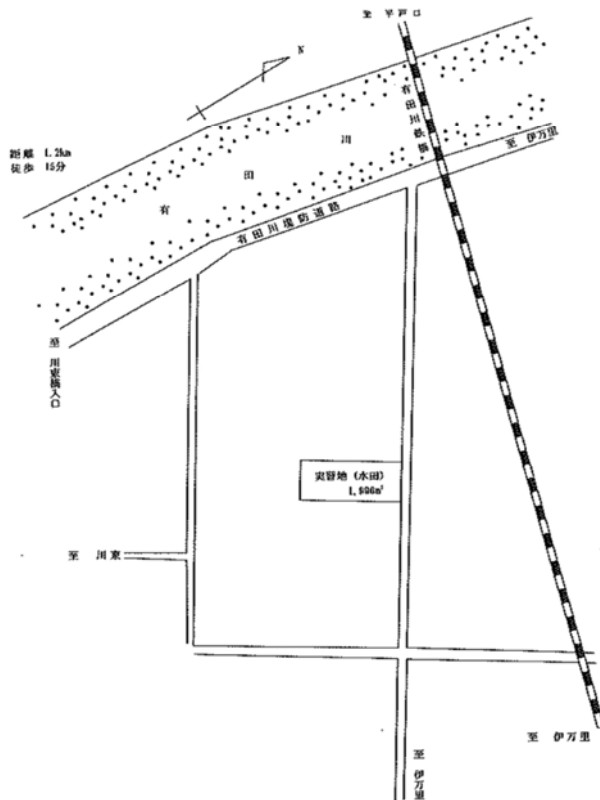
川西実習地

川西実習地現況図



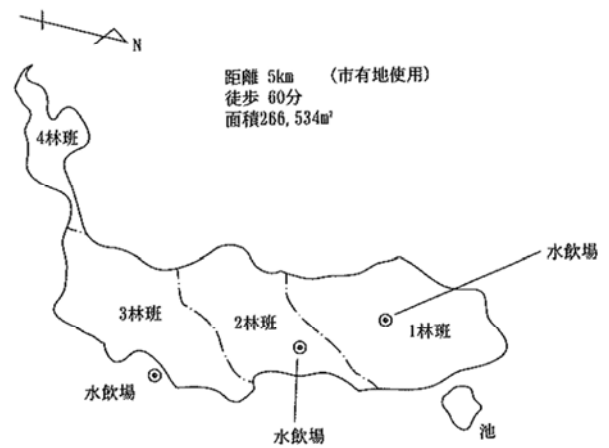
八谷搦実習地

八谷搦実習地現況図

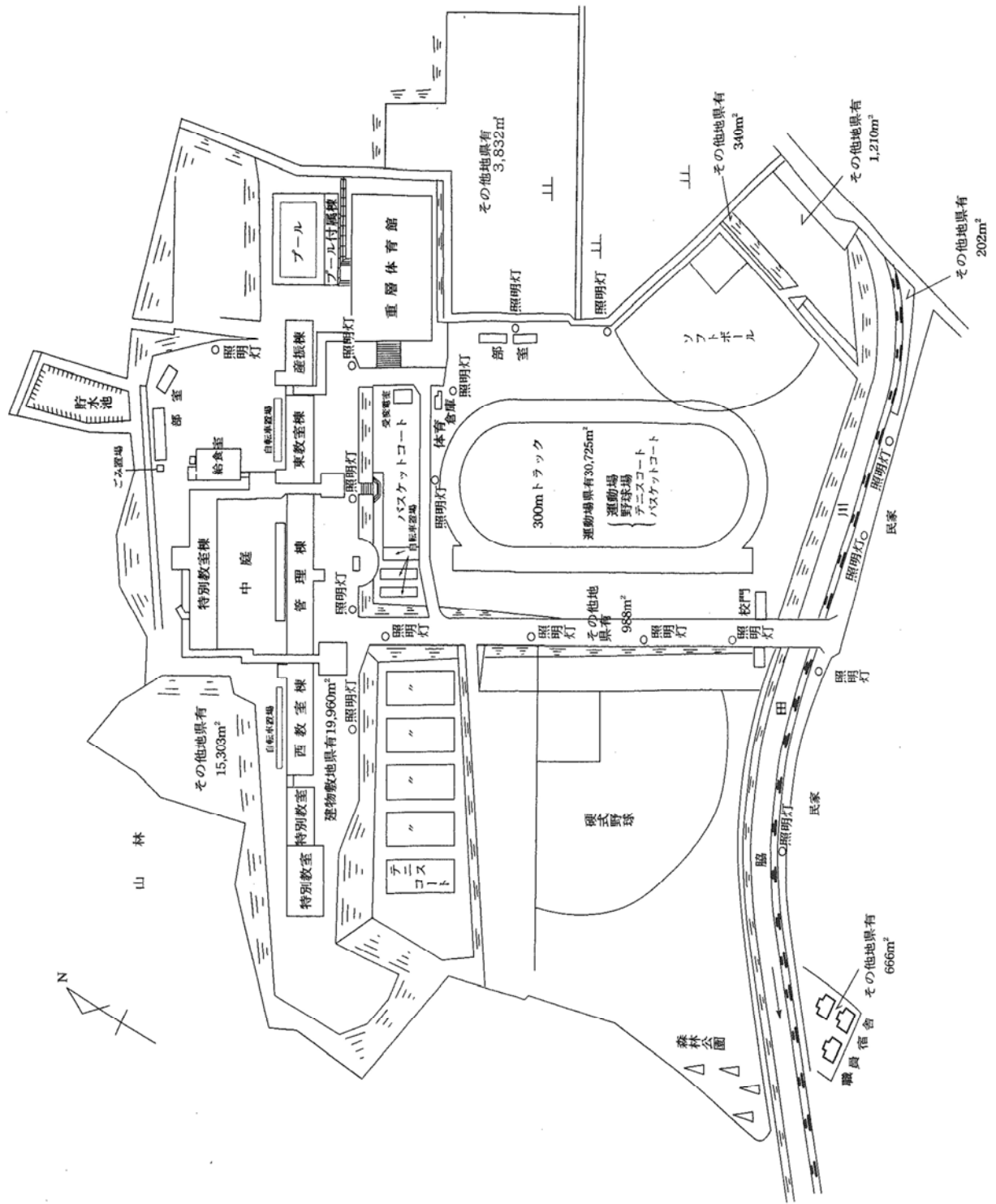


腰岳演習林

腰岳演習林等詳細図

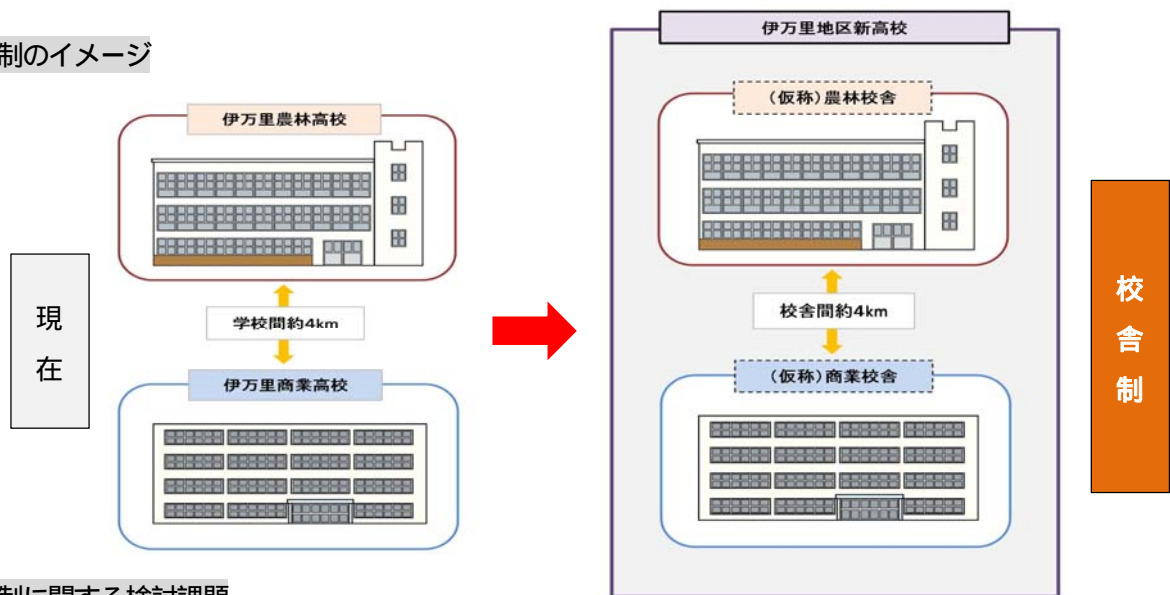


伊万里商業高校



4 校舎制について

校舎制のイメージ



校舎制に関する検討課題

(1) 行事について

合同実施が望ましい行事

【例】式典、学校祭、修学旅行、高校総体壮行会、芸術鑑賞会、全校集会、学年集会等
行事の際の移動

【例】式典の場合は大型バスをチャーター（往復）し、一方の学校で実施（入学式・卒業式は生徒＋保護者）。終日あるいは半日実施の行事については、各自で会場へ集合

(2) 部活動について

部活動種目の見直し 新高校校内委員会で検討

活動場所の割り振り 移動生徒数をシミュレーション

部活動の際の移動

【例】

- ・ 放課後にバスを3往復（部活動開始・終了時とその中間）させる。
- ・ 活動場所が帰路にあるものは、自転車や公共の交通機関等で各自移動させる。
- ・ 平日の合同練習を週3日とし、その日はバスを運行する（高校総体、新人戦前などはこの限りでない）。

(3) 職員配置・会議の在り方について

管理職の配置

【例】

- ・ 学校長は曜日ごとに、それぞれの校舎で勤務する。
- ・ 学校長は一方の校舎に常駐し、もう一方の校舎に副校長を配する。

校務分掌主任の配置

【例】

- ・ 分掌主任は一方の校舎にまとめる。
- ・ 分掌主任と副主任をバランスよく両校舎に分散させる。
- ・ 両校舎それぞれに分掌主任を配する。

会議の在り方

【例】

- ・ 職員会議等は、どちらか一方の校舎において合同で実施する。
- ・ 職員会議等は、それぞれの校舎で実施する。（その場合、管理職はどちらの会議にも出席する）
- ・ 年度当初、学校祭、高校入試等に関する会議は合同、それ以外は校舎単独で実施する。
- ・ 運営委員会も職員会議に準じる。

(4) その他

・ 校務分掌の見直し ・ 校時の検討 ・ 校舎間の連絡